

肩甲胸郭関節の病態（翼状肩甲）

翼状肩甲とは



翼状肩甲とは、肩甲骨が胸郭（肋骨）から離れて後方に突出し、翼のような形状を呈することを言います（図1）。

北村貴弘，三浦裕正，他：当科における翼状肩甲症例の検討，整形外科と災害外科；1998. 47：1147～1149. より引用

翼状肩甲の発生原因



◎発生機序

前鋸筋の支配神経である長胸神経の伸長によっておこることがあります。

例) ゴルフやテニス等のクラブスイングのようなスイングや体操の吊り輪によって長胸神経に伸長ストレスがかかりおこることがあります（図2）。